

会 議 概 要 書

審議会等の名称	第4回 磐田市環境市民会議
担当部課名	環境水道部 環境課
会議の開催日時	令和2年2月14日（金）午前10時～午前11時40分
会議の開催場所	市役所西庁舎 3階 304.305会議室
出席者 (職・氏名)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員14名 (出席者12名) 佐藤和美、杉浦 聖、松村啓子、清水秀之、中山隆司、鈴木正士 青木敬子、清 真人、鈴木弥栄子、田中卓也、山下千賀子、 石黒信子（敬称略） (欠席者2名) 須藤 毅、今泉佳代(敬称略) ・(事務局4名) 環境課長、環境保全グループ長、環境保全グループ副主任2名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次磐田市環境基本計画の進捗状況について ・基本方針5「地球温暖化対策に取り組めます」について ・基本方針6「環境教育を推進します」について ・その他環境施策について
配 付 資 料 等 の 件 名	<p>(1) 第2次環境基本計画の進捗状況（資料①）</p> <p>(2) 第2次環境基本計画の基本方針に係る施策について（資料②）</p> <p>(3) その他 環境施策の実施状況（資料③）</p>
概 要	<p>(1) 開会（事務局）</p> <p>(2) 会長あいさつ</p> <p>(3) 議事（議長：会長）</p> <p style="padding-left: 2em;">①第2次磐田市環境基本計画の進捗状況について（資料①）</p> <p style="padding-left: 4em;">事務局から第2次磐田市環境基本計画の進捗状況について説明</p> <p>《質疑・応答及び意見》</p> <p>【会 長】指標の「地場産物の使用の割合」について、「地場産物」の定義</p>

を教えてください。

【事務局】磐田市内の産物と聞いていますが、詳細については所管課に確認が必要ですので後日、ご報告します。

【委員】指標の「市内の耕作放棄地面積」で「所有者などから市へ相談があった場合は」とありますが、消極的に感じます。

【事務局】まず、地域の農業委員が荒れた田畑を調べ、農業委員会から所有者に対し今後どうするのかというような調査が行われます。その際、耕作される見込みのない農地に関して、できる限り担い手に受け継がれるよう支援しています。

【委員】指標にある「環境学習」の定義を教えてください。また、一学年でも環境学習を行ったら、学校全体が行ったという判断になるようですが、安易すぎるように感じます。児童の何パーセントが実施、というような統計の取り方が良いのではないかと思います。

【事務局】ご提案ありがとうございます。教育現場での環境学習は社会科や理科などの発展項目として実施されることが多く、また環境学習であると判断する基準も学校に任せています。そのため、市として具体的な定義を明示している訳ではありません。

【委員】地球温暖化防止センターのアースキッズチャレンジを行っている学校の数を教えてください。

【事務局】22校中14校です。

【委員】一番規模の大きい磐田北小が行っていないと聞いたのですが。

【事務局】アースキッズ事業につきましては毎年、各学校の希望を募り、実施希望の学校に対して行っております。学校の方針によって行われない事もあります。

【委員】協働による環境学習の推進についてはどのように調査されていますか。また、幼少連携としての環境活動は行われているのか教えてください。

【事務局】調査は各園から実施内容をデータで送ってもらっています。小学校との協働については、調査した中ではありませんでした。

【委員】幼少連携は、以前から言われていることなので、磐田市でも何かしら実施されているのではないかと思います。そういったところで環境教育を取り入れると良いと思います。

【委員】ドイツでは幼少期からごみ問題について教育を受け、ごみ削減に成功しているということです。ごみの少量化は急務であると考えますが、磐田市ではこの環境学習の中でゴミの問題について取り上げられているのでしょうか。

【事務局】環境教育のくくりとして報告されているかは不明ですが、磐田市の幼稚園保育園等はエコアクション21の認証取得サイトとしてごみの少量化を図っています。園の先生方も子どもたちと分別を行い、廃材で教材を作るなど、一緒にごみの問題に対して取り組んでいます。

②基本方針5「地球温暖化対策に取り組めます」について

基本方針6「環境教育を推進します」について事務局から説明

《質疑・応答及び意見》

【委員】学校給食の残菜量が増加しているのですが、食品ロスの問題などが伝わっていないと感じます。食べきったことをクラスで喜べるような工夫や導きがあると良いと感じます。

【委員】今、子どもの貧困の問題が言われていますが、この余剰の分をそういった問題の解決に利用出来たら良いと思います。その日の食事にも困る家庭がある反面、毎回給食が捨てられているのは矛盾を感じます。何かしら有効に生かせたら良いと考えます。

【会長】飼料にする事は考えられるかもしれません。

【委員】有効利用したいという意見には賛成ですが、大阪の方で、担任の先生が残った給食を持って帰り、処罰の対象となったことがあります。持ち帰る事の倫理的な問題や、またそれが安全な食事かどうかの衛生的な問題から、残った給食を何処かで利用するという事は相当困難なことであると思います。

【会 長】乾物などの長期保存が可能なものであれば検討することもできると思います。コンビニなどではお弁当などを施設にという話もあるようです。

【委 員】かつてはコンビニで残ったものを流出するのは禁止されていましたが、今は見直されて有効利用されていると聞きました。磐田市にも貧困家庭はあるので、炊き出しのようなものですか何かしら対策が取られるといいなと思います。

【委 員】今回の給食残菜が増えてしまった理由は何かあるのですか。

【事務局】詳細は把握できておりません。調査し、次回ご報告します。

【委 員】現代の子供たちは外食に慣れていて、健康的な給食の味付けではおいしく感じなくなっているという話もあります。

【委 員】また、かつては残さないことが当たり前だった教育の現場も変化しています。一概に良し悪しは言えませんが、残さず食べさせることを体罰と判断することも、給食残菜が増える一因となっていると感じます。

【会 長】環境教育について、その効果がどのくらいあるのか、その子自身がどれだけ行動に移せているのかを知りたいです。そんな、報告会があっても良いなと思います。環境に対する意識があったとしても、それを行動に移さなくては意味がないことになります。

【事務局】アースキッズ事業では、子どもたちが家庭で取り組んだエコ生活の成果が数値として示されます。それを継続して家庭で実践してくれれば環境学習の効果があつたと判断できると思います。他の環境学習で効果を数値化するのは難しいことです。

【委 員】子どもたちだけに教えるのではなく、親の世代に伝わって生活を変えていけたら良いと考えます。

【事務局】アースキッズ事業では、エコ生活の作戦を考えるうえで家庭を巻き込んでのこととなるため家族も共に活動していると考えられます。親も含めた啓発事業としてとても良いと考えております。

【委 員】大人が家庭生活の中で、電気の節約やごみの減量などを心がけなければ、子どもたちがいくら学んでも効果に繋がらないように感

じます。資源リサイクルの支援活動では、毎回、たくさんの古紙が集まります。リサイクルするからよいのではなく、ごみを減らさなくてはいけないなど考えてほしいです。

【委員】物を大事にしていなくては、子どもに伝わらないと思います。私たちの世代では「もったいない」を上世代の人によく言われたのですが、今の人はほとんど使わないようです。

【委員】大池の会の代表ですが、環境学習の推進というところで大池を環境教育の拠点として活用するとありますが、どのようなことをされていますか。

【事務局】今年度、大池では野鳥観察会を実施しています。

【委員】「目標5-1の省エネルギーの推進」で温室効果ガス排出量の表内に「エネルギー起源」とそれ以外とありますが、この「エネルギー起源」とはどのようなことですか。また、温室効果ガスが増加してしまっていますが、これは原因など分かっているのでしたら教えてください。

【事務局】エネルギー起源の温室効果ガスは石油やガスを燃やして出てくるもので、電気、ガスの使用量に比例する値です。非エネルギー起源は下水処理施設、ごみ焼却施設によって出る温室効果ガスのことです。今回、平成30年度で温室効果ガスが増加した理由の主なものが、焼却ごみに含まれるプラスチックの増加です。

【委員】大池は水質の悪化が問題となっています。7月の一週間以外は水門を閉じられてしまっています。これを開けて水が循環するようしてほしいのですが、なんとかならないのでしょうか。

【会長】農業用水はどのようにされているのでしょうか

【事務局】大池の水質悪化については承知しています。農業用のため池でもあります。環境課も農林水産課と調整しながら水量を調整しています。今年は少し多めに水門を開けるなどしています。

【委員】農業の方でも流していいという人もいるので、引き続き検討していただきたいと思います。

【委員】磐田市内で環境に関する活動をしている団体について、取りまと

めたものはありますか。

【事務局】環境に限らず、市民団体をまとめたものを地域づくり応援課で持っています。また市内42の事業者がまち美化パートナーとなり、不法投棄のパトロールなどを実施してくださっています。自然保護団体として、環境課に関連している団体としては、「NPO法人桶ヶ谷沼を考える会」や「岩井里山の会」「野路の会」、ひょうたん池では「ひょうたん池の自然を考えよう会」、大池は「大池の会」があります。また「磐田消費者協会」もごみ問題やアースキッズ事業にご協力いただいています。また「猟友会」も鳥獣に関して協力して下さっています。

【委員】市民活動団体一覧表が市民活動センターにありますので、活用してください。

【委員】エコアクション21に該当する団体がどんなことをされているかを教えて下さい。

【事務局】エコアクション21の取得をされた事業所では、ガイドラインに沿った活動をされていると思いますが、各事業所での内容となりますので詳細は把握していません。

【委員】環境保全推進協議会と中遠地域地下水利用協議会で行う間伐作業の場所を教えてください。

【事務局】地下水の間伐作業は敷地財産区で行っております。本会議の委員に関係する方がいらっしゃいます。

【委員】磐田市環境保全推進協議会の会長をさせていただいています、東海精機株式会社の中山と申します。磐田市環境保全推進協議会では、中遠地域地下水利用対策協議会と共催で行っています。豊岡の財産区の方が指導して下さって、70名くらいで伐採を行っています。

【委員】敷地外4ヶ字財産区で間伐を行っています。3月にはコナラの苗を900本植樹します。

【委員】財産区に該当していない、個人の山が荒れてしまっています。ペレットストーブを隣人が使っているのですが、入手先が少なく

遠方から購入していると聞きました。地元で間伐材を使用してペレットを作り地産地消できたら良いと考えました。

【委員】そういったことは環境課が主導でできるのですか。

【事務局】管轄としては農林水産課となります。なかなか、個人の山をなんとかするというのはむずかしいと考えます。財産区であればしっかり管理してくれていると思います。

【委員】磐田市の山は2,500haほどあります。そのうち、75%の2,000haが豊岡地区で、財産区は400ha管理しています。一般の山は戦争の時に強制伐採の後に拡大造林をしました。そこから10年経つと外材が入ってきて木材が売れなくなってしまった。今、山には50から70年経過した手付かずの森林がたくさんあります。間伐してあげないといけないのですが、高齢化でできなくなっています。私個人は、ボランティアの皆さんに助っ人に来ていただいて、うちの山をきれいにしてもらっています。財産区でも、市は様々な支援をしてくれていますが、面積が広くてやりきれない状況です。ホリデイフォレストーズと言う団体が竹林をきれいにするなど年間20カ所くらい作業してくれています。

【委員】環境課がボランティア団体と困っている山の持ち主をつなげて下さるといいと思います。

③その他環境施策の実施状況について（資料③）

事務局から環境施策の実施状況について説明

《質疑・応答及び意見》

【委員】環境学習の支援事業について、今はどのような状況ですか

【事務局】今は事業所にどんな協力を得られるか意向調査をしている所です。

【委員】県の方で森林環境教育指導者養成講座を行っています。そういう方々が、学校での環境活動に活かせると考えています。また来年度もこういった養成講座を実施しますので、企業の方でも個人

の方でもご参加いただきたいと思います。

【委員】高齢化もあり人の手ではできないので、作業ロボットなどを開発してほしいと思います。企業や大学などで開発して欲しいです。

【会長】ロボットは産業として成り立つことで、開発が進むかと思います。

【委員】森と言うのは、遠くにあっても自分たちの生活にかかわっています。環境教育の中で伝わると良いと思います。そして森林を守るためにボランティア活動しようという思いを育んでください。

【委員】静岡県では森づくり県民税で森を整備しています。今年から、森林環境譲与税が磐田市に降りてきていると思います。有効活用していただきたいです。

【委員】今は木の価値が下がっている為に森林資源が循環せず、放置されています。森林の為の税収を上手に使っていただきたい。

【委員】生きものも、食べ物が無くなって鳥獣被害が多くなっていると考えて、友人は広葉樹を植樹する活動をしています。

【委員】人間の何気ない行動が、動物を呼び込んでしまっている。そこに気付いてほしいと思います。

(5) その他（今後の日程について事務局より連絡）

(6) 閉会（事務局）